

学習内容報告書 フォーマット

学校名	貝塚市立津田小学校
授業者	藤原 猛

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

貝塚発見伝～貝塚学～

1-2. 学年

3456年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

「海のゆりかご『アマモ』」では、一度は絶滅したアマモは、水質が良くなり再生した。しかし、アマモが再生することで、様々な小さな生き物のゆりかご（すみか）となり、たくさんの生き物が増えていくということになったことを知る。

「ワースト1からの復活！」では、高度経済発展に伴う環境破壊が、貝塚の川でも起き全国ワースト1になった。しかし、様々な取り組みを行う中で水質は良くなり、絶滅したと考えられていた生き物が次第に帰ってきたことを知る。

「汽水ワンドで自然の再生」人工的に作ったワンドではあるが、必要以上には手を加えず、時間をかけて自然に干潟が出来上がるのを待つようにしていること、環境を再生しようとするには時間がかかる取り組みであることを知る。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

貝塚に生きる子どもたちに、貝塚のすばらしさを歴史、自然から学ぶ。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

生き物と環境について進んで関わろうとする態度や、学んだことを生活に生かそうとする資質、能力を育みたい。

1-7. 単元の展開（全 4 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>「海のゆりかご『アマモ』」 アマモは、小さな生き物のゆりかご（すみか）となり、たくさんの生き物が増えていったことを知る。</p>	<p>理科の学習で、生き物の土台は植物であることと関係していることに気づかせる。</p>
1	<p>「ワースト1からの復活！」 環境破壊が、身近な貝塚の川でも起きたが、人々の努力により改善したことを知る。</p>	<p>環境破壊は、ごく身近なところで起きることや、改善するために、身近な人々が努力したところに気付かせるようにする。</p>
2	<p>「汽水ワンドで自然の再生」 人工物ではあるが、できるだけ自然の力を利用して生き物とその環境を再生しようとする取り組みについて知る。汽水ワンドの観察。</p>	<p>自然の再生力はゆっくりだが、確実に進んでいることを、資料には載っていないワンドでのハクセンシオマネキの映像を見せ、実感させる。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

汽水ワンドの観察をすることで、水質ワースト 1 までなってしまった川の今の様子を見て、人々の努力と自然の再生力を感じる。
自分も少しのことでも続けることが大切なのではないかと考えられるようになる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
二色の浜近木川右岸干潟調査及びビーチコーミングと共に近木川汽水ワンドの観察を行うことで、自然の豊かさを感じ、ごみをできるだけ拾ったことで、環境に役立ったと感じることができた。	自然の再生力は、ゆっくりだけでも確実に進んでいる。人工物である汽水ワンドだが、そこにもしっかりと生き物は住み着いていることを、カニの穴や実物の微小貝を見せて感じさせる。

3. 今回の活動の自己評価

人工物と自然物を比較しながら、自然の再生について考えることができると取り組んだが、子どもたちは、たくさんの発見をしていたようだ。微小貝を見せ、環境が悪化するとまず小さな生き物（プランクトン）から多様性が失われていくことを聞いた。魚やウミガメがプラスチックを直接食べるだけではなく、生物多様性がくずれてしまうことから影響があることを考えさせたが、実際に浜に行くと、缶やプラスチックごみに貝がくっついていたり、小さな生き物がたくさん中にいたりした。ゴミだけどこれはごみじゃない、捨てられない。どうしたらいいか、とても悩んでいた。また、ゴミの集まる場所の様子にも気づく子どもたちがいて、そこの中にはたくさん貴重な貝も見つけられ、みんなで協力すれば、もっとたくさんのゴミも拾えるだけでなくたくさんの種類の貝も見つかるんじゃないかと、子どもたちの発想には驚かされた。

4. 今後の課題

学級閉鎖などがあり予定が遅れ、環境を守ることを自分たちの身近なこととして考え、行動するところまでの時間があまり取れなかった。そこを改善していきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。